

会派が注目する令和5年度に予算化された事業

公 明 会

都市交流事業 サンタモニカ訪問団派遣事業 予算額 5,797千円

令和2年に、サンタモニカ市と富士宮市との姉妹都市提携が45周年を迎えました。前年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年、4年と親善訪問団派遣事業は中止を余儀なくされましたが、代替事業として、外神東公園に記念植樹（アメリカの木ハナミズキ）、案内看板のリニューアル、ビデオメッセージでの交流、学生間のグリーティングカード交流、記念品の作成など行うことができました。

令和5年1月には、提携50周年記念事業の先発隊として7名がサンタモニカ市へ、2年振りの訪問交流を行うことができました。2年後の50周年記念事業に向けてのキックオフミーティングを、サンタモニカ市国際交流協会、サンタモニカ市、SGIアメリカ総本部、サンタモニカ高校に赴き、行うことができました。令和5年度から、訪問団派遣事業が再開され、相互交流が期待されます。高校生の交換留学生事業についても、令和5年度初めより募集が開始される予定です。

インドの詩人であり、ノーベル文学賞受賞者タゴールの言葉に『人々の間に結合をもたらし、平和と調和を築くことこそが、文明の使命である』とあります。この言葉のとおり、48年にも及ぶ国際交流の意味、なお一層の充実と今後も長きにわたる交流を期待する事業です。

至 誠

富士宮駅前広場等施設整備詳細設計業務 予算額 48,000千円

富士宮駅前広場は当市の玄関口の一つであり、電車での来訪者が当市について抱く第一印象の場でもあります。今まではそのことについてあまり意識がされていなかったようで、広場から見える富士山についてもその眺望に誘導するような措置もとられていなかったことが非常に残念でありました。

本予算により、令和5年度に実施する詳細設計では、ペDESTリアンデッキからの富士山眺望について、眺望を阻害する看板等の施設を可能な限り除却または移設し、眺望できる場所にベンチを置くことなどを計画しているとのこととあります。また、天気により富士山が見えない場合にも配慮し、デジタルサイネージを活用したイメージ写真や市内各地の富士山眺望点へどのように誘導できるのかなどを設計に反映していくということとあります。

当市は富士山を有するまちとして積極的に富士山を活用し、イメージ付けを行うことで、それがシティセールスになり、また誘客にも繋がっていくと考えられ、非常に期待するところであります。

育 成

外神スポーツ広場照明設置工事費 予算額 110,000千円

第5次総合計画の基本目標4の施策6に『スポーツによる健康づくりと人々の交流を創出するまち』を掲げています。そのため、外神スポーツ広場に照明設置工事を行い、市民に有効的なスポーツ広場として使える予算措置になったと考えます。さらには、令和6年3月完成、4月使用開始することは、地域への中学校クラブ活動移行なども考慮されていると考えます。これまでは、夜間のスポーツ環境が限られていた当市において、夜間照明設備が十分でなかったことに対して、多くの市民からの要望を承っておりました。外神スポーツ広場の夜間照明により、希望する市民が多く利用できるようになります。また、スポーツ環境が持つ影響力は大きく、WBCでの日本国民の盛り上がりは記憶に新しいところです。市民の健康と生き生きとした暮らしに貢献する予算であることに期待を致します。

今後も、いつでもどこでも誰でも気軽に楽しめる場所、そして障がい者も健常者もスポーツに対する関心がより一層高まり、スポーツの持つ素晴らしさを再認識し、より多くの市民のスポーツへの参加と技術向上につながるスポーツ環境への予算措置に期待します。

無 会 派

不妊不育症治療費助成事業 予算額 41,337千円

令和4年度予算より1千万円増額した本事業です。

令和3年度の実績としては、母子健康手帳交付まで達成できたのは58名でした。少子化の中、大変希望や期待が持てる事業です。今後、冷凍精子保存事業なども新たな事業として、取組の必要性を感じます。

無 会 派

共同処理実証実験負担金 予算額 7,800千円

現在衛生プラントへ投入している、し尿と浄化槽汚泥を星山浄化センターへ直接投入し、排水処理した場合の影響を測定する実証実験の費用です。将来的に共同化による経費削減に向けた大きな一歩と考えます。

無 会 派

監視カメラ借上料 予算額 389千円

違法・脱法盛り土を抑制するため、稼働式カメラを3台貸出す事業です。今まで法律の抜け目を利用して行っていた盛り土が、見受けられなくなりました。この事業により、農業委員会と連携して市内の盛り土の状況が改善されることを期待します。